

# 「区民の総意は反対」

## 高江ヘリパッド説明会

### 騒音・安全性に不安

### 「約束守らない」指摘も

【東】米軍北部訓練場の一部返還の条件とされる東村高江へのヘリコプター着陸帯（ヘリパッド）移設問題で沖繩防衛局は1日、高江公民館で区民対象の説明会を開いた。説明会では「区民の総意は2度の反対決議で示されている」「騒音から住民を守るのか」と、移設に反対する意見が相次いだ。

（一面参照）



区民から騒音や環境被害、オスプレイ配備について次々と質問が飛んだ説明会＝1日、東村・高江公民館

先月29日に防衛省が那覇地裁に反対運動を続ける住民に通行妨害禁止を求め提訴したため、住民側弁護士との会場入りをめぐる防衛局職員と押し問答となり、開始が20分余り遅れた。移設に反対する市民団体の人々は、怒りに見守った。冒頭、沖繩防衛局の真部朗局長が「県民の負担軽減になると確信しているが、なかなか工事が進まなかった。公正な裁判所の結果を求めて一定の理解を得られた。準備が整い次第、近々工事を再開したい」と理解を求めた。

質疑応答では同区代議員や区民らが次々と質問。民生委員の喜友名サヨさん（69）は「学校地域の飛行を回避するのだが、本当に守られるのか。以前宜野湾

の基地のそばに住んでいた時、約束が守られず、騒音のたびに子どもたちが夜中目を覚ました」と不安を訴えた。また、高江洲義吉さん（69）は「区民の総意は反対、新しくできるヘリパッドが集中的に高江に建設され、特にN4地区は集落から近い」と計画撤退を訴えた。

これまで3回、牧場に米軍ヘリが不時着するのを見たという渡久地政久さん（69）は「頭上を普天間のヘリが夜遅くまで飛行している。飛行ルートや安

全性の保障をきちんとしてほしい」と迫った。最新鋭機のオスプレイ配備の有無や安全性についても質問が相次いだ。

沖繩防衛局担当者は、米政府から沖繩へのオスプレイ配備の計画は聞いていないとしながらも「沖繩（普天間）にあるCH46、CH53がオスプレイに更新されるとい一般的な予定がある事は承知している。

沖繩に配備される可能性は認識している」と説明。飛行ルートなどは明らかにしないまま、米国の環境影響評価で「CH46やCH53より騒音が少ない」と説明すると「ほかにするな」といったヤジや、失笑が漏れた。

通行妨害禁止を理由に防衛省に提訴された安次嶺現達さん（51）は「弱い立場の住民を裁判に引っぱり出

### 外相「普天間継続も」

### 県民あきれ「またか」

「またか」。1日、米軍普天間飛行場の継続使用もあ伊波洋一市長は、外相発言にり得るとした岡田克也外相のついでにコメントを求められた。発言、移設問題をめぐって「普天間継続はない」と鳩山首相の発言に触れ、「首明言した鳩山首相と対照的に、これまでも度々一県向けて努力するのが外相の役割内容」の言葉を繰り返してきた外相に、県民からは憤りを通り越しあきれの声も上がった。

普天間爆音訴訟団の高橋作男事務局長はこぼす「危険と隣り合わせで生活している住民

### 政権交代に疑問も

にあって、固定化は許される話じゃない。住民の思いとはかけ離れていると断じる。

「外相の発言にはうんざりだ。こう話すのは、ヘリ基地反対協議会の安次嶺代表委員。「普天間の固定化、県内移設はありえない」というのが政権交代の原点だったはずだ。与党3党で基地問題を議論している最中に、県民の思いをないがしろにするような発言を繰り返すとは、自民党政権の時よりひどい」と怒りをあらわにした。